

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 COVID-19 流行下の在宅ワークと心理的ストレスの関連： 横断研究
	研究の対象 (研究課題名「生体時計特性をふまえた在宅ワークによる健康影響：横断研究」、研究番号 21-055、研究責任者 影山 淳)において、調査協力企業であるヤマハ発動機株式会社とそのグループ企業に所属し、2020年の新型コロナウイルス感染拡大後に週2日以上在宅ワークを実施した期間が1ヵ月以上ある成人労働者
	研究の目的 在宅ワークは一般的には自律性が高く柔軟な勤務体系のため、肯定的な影響が高い働き方とされています。しかし、コロナ禍における急速な在宅ワークの開始は、多くの労働者にコミュニケーションやワークライフバランスの悪化などの否定的な影響をもたらしたとされており、長時間労働とそれに伴うメンタルヘルスの悪化が懸念されています。在宅ワーク時の心理的ストレスには何らかの個人的要因が関連している可能性が考えられますが、その要因についてはまだ不明な点が多くあります。この研究では、在宅ワーク実施者に対するアンケート結果の分析から、どのような属性の人が心理的ストレス増大のリスクを抱えているかを明らかにすることを目的とします。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2023年3月末まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又	研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>は提供する試料・情報の項目</p>	<p>情報：年齢、性別、職位、職種、雇用形態、事業場出勤時・在宅ワーク時時間外労働時間、事業場出勤時・在宅ワーク時睡眠時間、労働時間制、在宅ワーク専用部屋の有無等 研究課題名「生体時計特性をふまえた在宅ワークによる健康影響：横断研究」の実施時に取得済み</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 渡井いずみ</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 地域看護学講座 渡井いずみ</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>この臨床研究は、過去に実施された臨床研究で取得済みの情報（無記名アンケートの回答データ）を利用するものであり、お申し出があっても研究者があなたの情報がどのようなものかを特定することができません。そのため、あなたがご自身の情報をこの研究に利用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合でも、利用の停止や提供の停止を受け付けることはできません。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>この臨床研究は、過去に実施された臨床研究で取得済みの情報（無記名アンケートの回答データ）を利用するものであり、あなたの個人情報を利用していませんので、開示できる個人情報はありません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学 部署名： 浜松医科大学 地域看護学講座 担当者： 渡井いずみ TEL： 053-435-2832(直) E-mail： E-mail : izumiw@hama-med.ac.jp</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書